

都市再生整備計画

みっかいちちょうえきしゅうへんちく
三日市町駅周辺地区

おおさかふ かわちながのし
大阪府 河内長野市

平成19年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	大阪府	市町村名	河内長野市	地区名	三日月町駅周辺地区	面積	19.7 ha
計画期間	平成 19 年度 ~ 平成 21 年度	交付期間	平成 19 年度 ~ 平成 21 年度				

目標
大目標:宿場町の歴史を活かしたにぎわいづくりと児童の安全の確保
目標1:通学路周辺の危険箇所解消による児童の通学安全性の確保 目標2:高野街道の歴史的街並みを活かした来訪者の増加

目標設定の根拠
まちづくりの経緯及び現況 <ul style="list-style-type: none"> 本地区は、大阪都心から南海高野線三日月町駅まで約30分という交通至便であることから、ベッドタウンとして発展し、さらにかつては高野街道の宿場町としても栄え、今もその面影を残している。 しかし、狭隘な幅員の道路が多く、木造密集市街地を形成していたため、公共交通機関が駅前に乗り入れることができず、集客力のある施設も存在しなかったため、駅利用者以外の来訪者がほとんどない状態であった。 そこで、平成10年度から平成17年度にかけて、三日月町駅前西地区市街地再開発事業を実施し、再開発ビル・街路・駅前広場・駐輪場の整備を行った。 また、平成16年度から平成18年度にかけて、まちづくり交付金を活用して地域交流センター、自由通路等の整備を行った。 その結果、平成15年度には11,000人/日であった地区への来訪者数は、平成18年度には16,285人/日になるなど、地域の核施設である再開発ビルを中心として、まちの賑わいが向上している。 また、街路等の整備改善により、駅周辺地域への交通アクセス条件が向上し、公共交通機関の駅前への乗り入れが可能になるとともに、自動車の乗り入れが容易になり、鉄道で分断された東西の連絡もスムーズになった。
課題
<ul style="list-style-type: none"> 駅周辺の整備により狭隘な道路が解消され、交通アクセスが向上した反面、車の乗り入れ量が増加したため、交通事故の増加(特に児童の通学時の安全性)に対する不安がある。 地域全体の賑わいをより向上するため、地域の観光資源である高野街道の歴史的街並みを活かした観光客の誘致を図る必要がある。
将来ビジョン(中長期)
<p>駅周辺を中心とした都市核の形成を目指し、市民が豊かな生活を創造できる都市機能の集積を進めるとともに、歴史的資源等の地域特性を生かした都市の有効利用を図りながら市南部地域の拠点として相応しい「ふれあいと歴史・文化のまち」をめざす。</p> <ul style="list-style-type: none"> 河内長野市第4次総合計画(H18~27年度)では、自動車社会の進展による市民生活の郊外化・広域化に伴い衰退してきた主要駅周辺市街地について、商業振興、既存の都市基盤の有効活用、地域資源の集積などによる活性化が求められるとしている。 平成18年11月改定予定の河内長野市都市マスタープラン(案)では、宿場町として栄えた駅周辺の歴史的な整備や、駅前住宅市街地としての整備や高度利用などを進めるとしている。 河内長野市景観形成計画(H12.11)では、市南部の都市核とした歴史と文化の香り高いまちなみ景観を基本目標として位置付けている。

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
通学路等の安全に対する満足度	%	小学校の保護者等の通学路等の安全性に対する満足度	交差点付近を中心とした交通環境の改善や災害時危険箇所の解消等により、通学路等の安全に対する不安の解消を目指す。	18.9	H18	28.9	H21
地区への来訪者数	人/日	地区内の施設・駅の利用者数	高野街道の魅力アップにより観光客の誘致を図り、来訪者の更なる増加(1割程度の増加)を目指す。	16,285	H18	18,000	H21

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1 通学路周辺の危険箇所解消による児童の通学安全性の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 市道三日市1号線の拡幅整備を行い、通学路(特に交差点付近)の安全性向上を図る。 三日市小学校運動場法面の崩落を防止し、通行者の安全を確保するため、整備を行う。 地震等の災害時の通行を確保するため、三日市橋の耐震補強を行うとともに、高欄の桁上げを行い、転落防止を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 市道三日市1号線整備事業(基幹事業/市) 三日市小学校運動場法面整備事業(提案事業/市) 三日市橋耐震・高質化事業(基幹事業/市)
<p>整備方針2 歴史的街並みを活かして来訪者の増加を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 三日市橋の路面の高質化を行うとともに、高欄を高野街道の歴史的街並みにマッチするように整備する。 現役の交番としては、府内で一番古い木造交番である三日市交番の保存活用を行い、三日市宿の玄関口に位置する高野街道観光の拠点とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 三日市橋耐震・高質化事業(基幹事業/市) 旧三日市交番保存活用事業(関連事業/市)
<p>その他</p> <p>これまでのまちづくり交付金を活用した取組み(H16～18年度)との関連について</p> <ul style="list-style-type: none"> まちづくり交付金を活用し、基幹事業として三日市橋の南側について、舗装の高質化を行い、橋の北側については、H18年度に市単独で舗装の高質化を実施した。 今回、三日市橋についても同様の舗装を実施することにより、三日市宿エリアの一体的な雰囲気づくりを行う。 まちづくり交付金を活用した街路等の整備により、駅周辺の交通アクセスが格段に向上したが、駅と住宅地を直結する市道三日市1号線が狭隘なままであり、特に交差点部分が狭いため、交通量の増加に対応することができず、交通事故の懸念も高まっている。拡幅整備の実施により、問題点の解消を図る。 <p>高野街道を活かした観光客の誘致について</p> <ul style="list-style-type: none"> 高野山の世界遺産登録をきっかけに、歴史ファンを中心に高野街道への関心が高まっている。 これを受けて、市では平成18年度から、高野街道を基軸とした観光産業振興策の研究を行っている。 また、高野街道をコースとしたウォーキングを毎年実施し、地元住民やまちづくり団体と一体となった観光客の「おもてなし」や特産品の販売を行っている。 今後は、既に組織済みの観光ボランティア・文化財ボランティアによる高野街道ガイドなどを推進し、市民と一体となった観光客の「おもてなし」を進める。 	

三日市町駅周辺地区(大阪府河内長野市) 整備方針概要図

目標	大目標:宿場町の歴史を活かした賑わいづくりと児童の安全の確保	代表的な指標	通学路等の安全に対する満足度(単位:%)	18.9 (H18年度)	28.9 (H21年度)
	目標1:通学路周辺の危険箇所解消による児童の通学安全性の確保		地区への来訪者数(単位:人/日)	16,285 (H18年度)	18,000 (H21年度)
	目標2:高野街道の歴史的街並みを活かした来訪者の増加		()	()	()

